バスケットボール競技における競技者育成プログラムに関する研究
～育成年代に着目して～

蔵元 彩（福岡教育大学 大学院）鈴木 淳（福岡教育大学 保健体育講座）

1.はじめに

近年，競技者育成プログラムの構築は国際競技力の総合的な向上方策として必要不可欠なものとなっている．公益財団法人日本バスケットボール協会は，2002 年に従来の強化体制を見直し，競技者育成プログラム「エンデバー制度」を策定し現在執り行っている．しかし，先んじて行われている諸外国の競技者育成プログラムと比較すると十分ではなく，特に，育成年代の指導充実の重要性は認識されながらも，全国規模の一貫指導による成果はあまり得られていないのが現状である．

そこで本研究では，日本の競技者育成プログラムの現状と課題を明らかにすると共にスペインでの，あるクラブチームの実際の取り組みを参考として日本の競技者育成プログラムに関する指導カリキュラムの開発に役立つ基礎的資料を得ることを目的とする．

2.研究方法

2-1【インタビュー調査対象 】

JBA テクニカル委員会エンデバーグループ長 1 名

FEB テクニカルコーディネーター1 名

2-2【インタビュー調査内容】

JOC 競技者育成プログラム作成のためのフレームワークの基本的内容を抽出し調査を行った．インタビュー後質問紙に回答してもらった．(5 段階評価表)

2-3【アンケート調査対象】

スペインの育成年代を指導する指導者 7 名

2-4【文献調査】

3.結果及び考察

3-1 日本の競技者育成プログラムの現状及び問題点

協会が掲げる長期的な目標として JBA2010 年宣言の中で，男女日本代表は，2020 年オリンピックにともに出場，2030 年までに，オリンピック・世界選手権においてメダルの獲得を目指すという記述が見られた．

しかし中期・短期的な目標については記述がなく，エンデバー事業やエンデバープロジェクトの公式に発表している資料にも明確なコンセプトの記述がない．これらに関してインタビューの結果，中期や・短期的な目標の代わりに，各年代カテゴリー別の目標を掲げており，それらを達成することで長期的な目標へとつなげていくという事が明らかとなった．

育成したい選手像について，「ENDEAVOR PROJECT」(2002) の中に，日本バスケットボール界の選手育成の全体像が挙げられていた．それは平面的，ハイペースかつ合理的なバスケットボールを目指した，ジャパンオリジナルバスケットボールを創世することである．しかし各年代別の求める育成選手像の記述はなかった．各年代別における求められる選手像については公式な発表はないが発達発育に合わせた育成像などの私見を得られた．しかし，それらの選手育成に関して協会と各都道府県下での連携や情報伝達での問題点などがある．これらの背景にはエンデバー事業が機能的に動き始

めたのがここ数年であり，まだまだエンデバー組織自体の確立がなされていないという現状が窺えた．

3-2 **一貫指導における先進国（スペイン）であるクラブでの実際の取り組み**

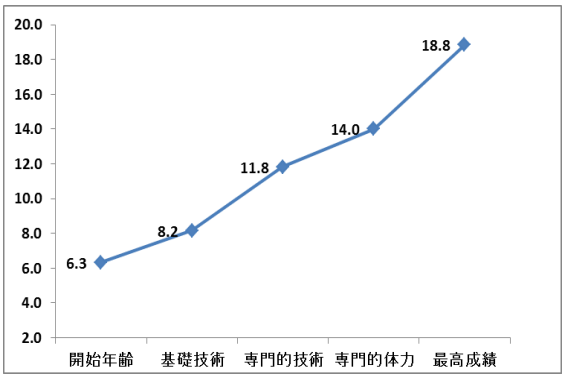

図 1.　獲得技術・体力の至適年齢

図 1 は育成年代に携わるスペインの指導者 7 名を対象にしたアンケート結果の平均を表したものである．図 1 のように技術の習得は小学校から中学年代での獲得が求められ 18 歳前後でバスケットボールプレーヤーの完成を目指す傾向が強いという事が分かった．これはこのクラブで若年層からの育成・強化がなされていることが一つの要因である．またトップチームにクラブで輩出された優秀なプレーヤーを 6 人ほどピックアップする自前の育成システムがあるために，早期にエリート教育の必要性を生じさせ，優秀な選手を輩出に繋がっていると示唆できる．

図 2 のように日本, スペインとも Pre-mini では図の左側に重要度が偏るが，図 3 では右側に重要度が偏ることが分かる．これは発育発達の観点からその時期に見合った発達の要素を両国ともに把握しており，指導の際に考慮している視点であることが窺える．

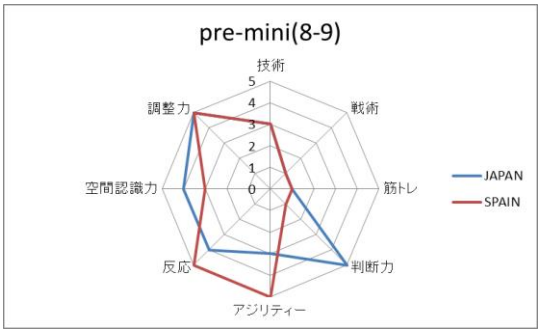

図 2. 選手向上に必要な 8 つの要素比較①

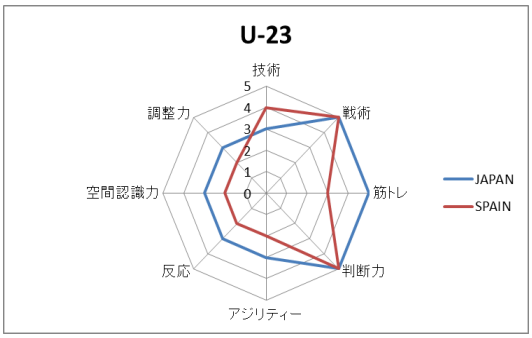

図 3.　選手向上に必要な 8 つの要素比較②

4.まとめ

4-1 日本の現状と問題点

公的な部分での細かな情報公開や JBA の組織自体の確立を促す必要性，各都道府県協会との連携不足が明らかになった．

4-2 諸外国の一貫指導の取り組み

調査したクラブチームではトップチームとの連携から若年層からの育成が重視され 18 歳前後での選手としての完成を目指すことが示唆された．

5.参考文献

1）日本バスケットボール協会（2002）ENDEAVOR PROJECT

2）日本バスケットボール協会（2002）バスケット指導教本

3）日本バスケットボール協会ホームページ　http://www.japanbasketball.jp/

4）日本バスケットボール協会　エンデバー委員会（2004）エンデバーのためのバスケットボールドリル．ベースボールマガジン社